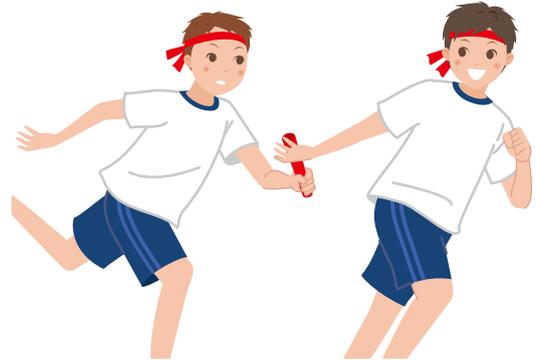


Vol.123 「中学生の体操服に求めること」

体操服は体育の授業以外にも、部活動や課外学習、掃除・奉仕活動、地域によっては、登下校や校内着として普通の授業など、制服を着ている時間よりも体操服を着ている時間のほうが長い学校もあるようです。では、中学生の子どもを持つ母親視点ではお子様の体操服について、どのようなことを求めているのでしょうか？今回は、中学生の子どもを持つ母親を対象に、お子様の体操服で気になることや必要だと思われることを調査しました。



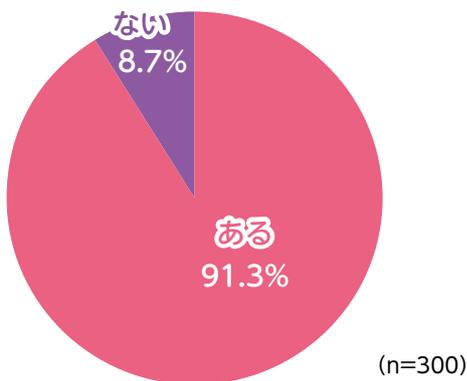
調査概要

調査対象：全国の中学生の子どもを持つ母親600人
 調査方法：インターネットリサーチ
 実施時期：2015年5月

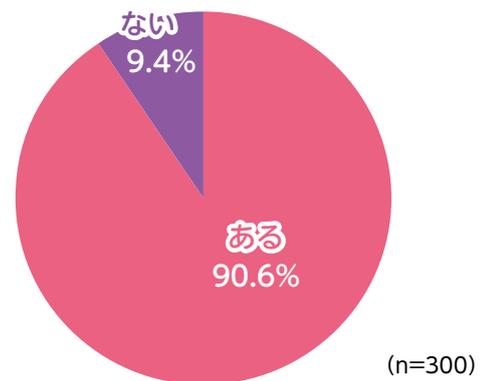
Q 1. 体育の授業以外で、体操服の着用有無

中学生の子どもがいる母親に聞いたお子様が体育の授業以外に体操服を着る機会は、男子中学生は「ある」(91.3%)、女子中学生は「ある」(90.6%)という結果になりました。

<男子中学生>



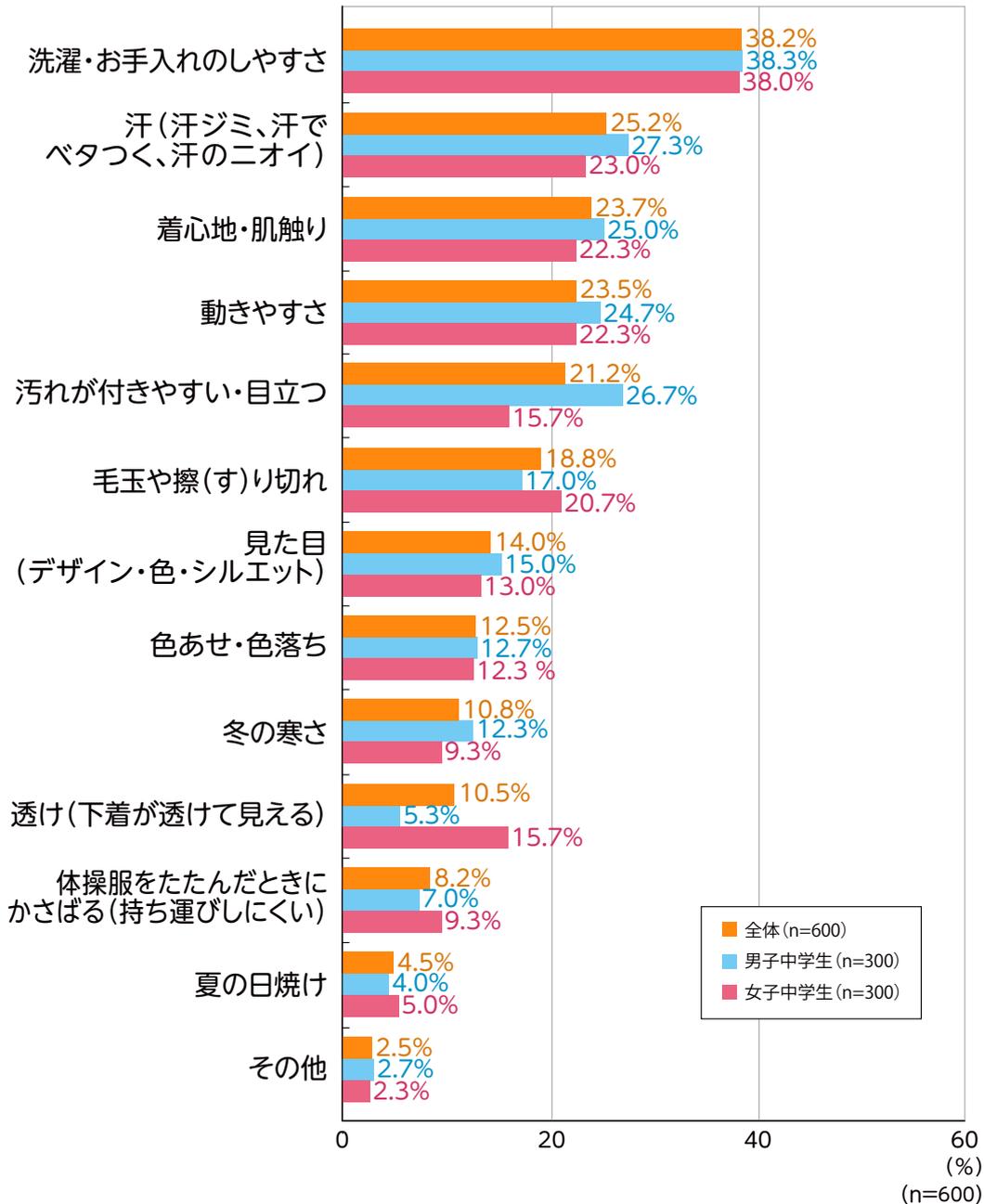
<女子中学生>



【図1】 体育の授業以外で、お子様が体操服を着るときはありますか。(単数回答)

Q 2. 体操服で気になること

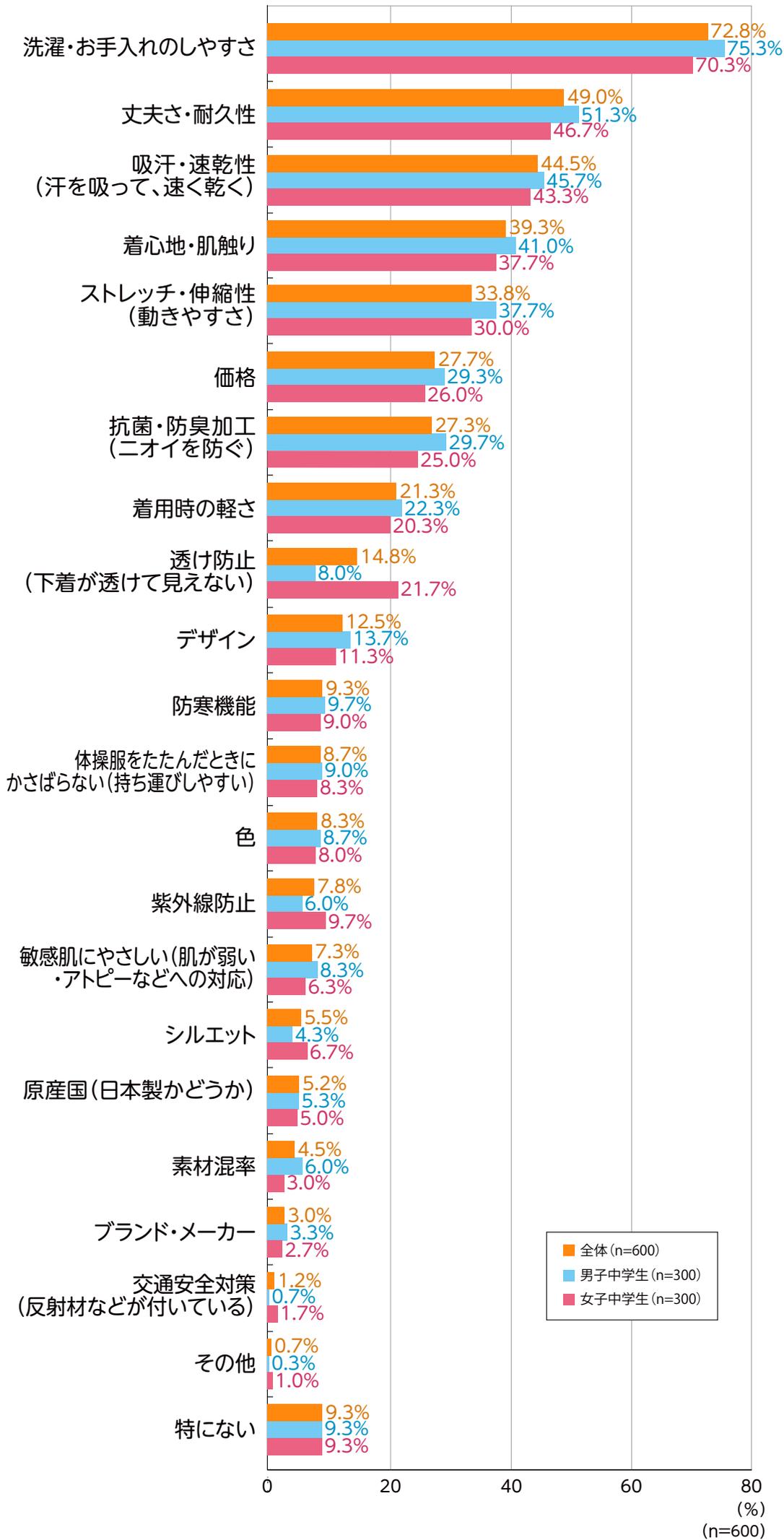
お子様が着ている体操服で気になることは、全体では「洗濯・お手入れ方法」(38.2%)、「汗(汗ジミ、汗でベタつく、汗のニオイ)」(25.2%)、「着心地・肌触り」(23.7%)、「動きやすさ」(23.5%)という回答が多くなりました。男女別で見ると、男子中学生は「汚れが付きやすい・目立つ」(26.7%)が女子中学生に比べて10ポイント以上多く、女子中学生は体操服の「透け(下着が透けて見える)」(15.7%)が気になるという回答が男子中学生に比べて10ポイント多くなりました。



【図2】 お子様の体操服で気になることは、どのようなことですか？(複数回答)

Q 3. 体操服に重視すること

体操服に必要なと思うことは、全体では「洗濯・お手入れのしやすさ」(72.8%)が最も多く、「丈夫さ・耐久性」(49.0%)、「吸汗・速乾性(汗を吸って、速く乾く)」(44.5%)、「着心地・肌触り」(39.3%)、「ストレッチ・伸縮性(動きやすさ)」(33.8%)などが多くなりました。女子中学生の母親は「透け防止(下着が透けて見えない)」(21.7%)ということが、男子中学生に比べて重視するという結果になりました。



【図3】 体操服で重視するのは、どのようなことですか？（複数回答）

 **まとめ**

中学生活では、体育の授業以外に体操服を着るシーンは多いようです。

今回、中学生の子どもを持つ母親を対象にした調査では、体育の授業以外に体操服を着る機会は、男子中学生、女子中学生ともに9割を超えていました。お子様の体操服で気になることは、「洗濯・お手入れ方法」(38.2%)、「汗(汗ジミ、汗でベタつく、汗のニオイ)」(25.2%)、「着心地・肌触り」(23.7%)、「動きやすさ」(23.5%)という回答が多くなりました。体操服に必要なだと思うことは、「洗濯・お手入れのしやすさ」(72.8%)という回答が7割を超え最も多くなり、次に、「丈夫さ・耐久性」(49.0%)、「吸汗・速乾性(汗を吸って、速く乾く)」(44.5%)、「着心地・肌触り」(39.3%)、「ストレッチ・伸縮性(動きやすさ)」(33.8%)が多いという結果になりました。また、女子中学生の母親は「透け防止(下着が透けて見えない)」(21.7%)が必要という回答が5人に1人いることがわかりました。

体操服は、スポーツ時の運動機能を高めるとともに着用時のストレスを軽減させ、動きやすく、丈夫であることが求められています。そして、母親視点では「洗濯・お手入れのしやすさ」が最も重視しています。中学生活の様々な場面で着る機会のある体操服ですから、お子様自身と保護者の両者のニーズを満たす体操服を着用して、快適な中学生活を送ってほしいものです。

毎月最終
火曜日
更新

カンコーホームルーム ~学生を読み解くデータ集~

カンコーホームルームは、学生を取り巻く環境や子どもたちの意識・ライフスタイルについて、多角的に調査・分析し、その結果をお届けしています。
ホームページでは、今回ご紹介した調査データ以外にも様々な情報を掲載しております。

検索<http://kanko-gakuseifuku.co.jp>